

平成 20 年 2 月 4 日

神奈川県知事
松 沢 成 文 殿

川崎南高を活かそう会
代表 高橋徹夫
事務局 渡辺 治
神奈川県川崎市川崎区鋼管通 4-14-18
TEL:044-344-6520 FAX:044-344-3936

旧県立川崎南高校の再利用に関わる抗議と要望

冠省

かねてより再三にわたり要望している旧県立川崎南高校の再利用に関わる問題について、抗議いたします。

現地には先週から作業車が入りはじめ、2月2日には工事の為のプレハブ、仮囲い材等の搬入をしようと運搬車が南高校門の前まで来ました。

南高工事に関しては、昨年 12 月 22 日の説明会で「実績のある優良企業」としてアスベスト工事について説明していた「野城」が脱税で起訴されたこと、それに対する対策についてアスベスト被害を心配する地域住民に対しては何の説明もありません。また 12 月 22 日の説明会で住民側が提出した 8 つの要望についての回答も説明会参加者は未だ受取っていません。このように未解決なことが多くある状況で、しかも住民が何度か財産管理課に電話にて問合せをしていたところでは「野城の替わりの業者は決まっていませんし、まだ工事にはかかりません」と回答していた(最後の電話はプレハブを搬入しようとしていた日の前日 2 月 1 日開元氏回答)にもかかわらず、今回ような事実上の「着工」をするのは許されることではありません。

さらに、平成 18 年に亡くなった天井工事従事者の方が最後に行なったのが川崎南高校の工事だったことから労組の職員が南高校の立入り調査を行なったところ天井等にアスベスト含有ボードが確認されその方は労災に認定されました。その時の労組が行なった調査結果を調べたところ、今回のアスベスト除去に先立って神奈川県職員と神奈川県が依頼した一級建築士による調査結果の内容と一致していないことがわかり、神奈川県の説明はますます信用のできないものであることが明白になっております。

除去計画をするための基になる情報が間違っているわけですから、安全な工事ができるとは決していえません。

不誠実な神奈川県の対応に抗議すると共に、納得がゆく安全性が確保できない解体工事は早急に中止し、住民が強く希望する立入り調査をさせていただくと共に、建設時設計図書を早急に開示していただくよう要望いたします。

以上